

2022 年 6 月 13 日

2022 年 5 月度市況

東京洋紙同業会（紙青会作成）

<印刷用紙 A>

平判、巻取共に学参、生損保、金融関連、株主総会関連を中心に堅調に推移したが、若干前年を下回った。前々年比でみても平判 111.1%、巻取 99.3%であり、多少回復基調が見られた。

（前年比 平判 97.9% 巻取 99.9%）

再生紙は指定物件、入札物件の受注減少が続いている状況の中、平判は案件数を昨年並みに確保できたが前年を下回った。

巻取は官公庁関連で大口入札案件の受注があり前年を大幅に上回った。

前々年比でみても全体で 106.3%となっており受注増の影響が見られた。

（前年比 再生上質平判 92.6% 再生上質巻取 288.2% 再生上質計 164.3%）

（前年比 印刷用紙 A 全体 98.3%）

<A2 コート>

平判は出版関連及び商業カタログ、パンフレット、DM で動きがみられたが、全体的に活気は見られず、グロス、マット共に前年を下回った。

巻取は食品デリバリー、不動産関連、通販関連で一部動きがみられたが、需要の復活には至らず、グロス、マット共に前年を大幅に下回った。

コロナによる制限等は解除されたものの、在宅ワークや引きこもり生活が定着している現状で、紙離れの傾向に拍車がかかり始めている。各業界においてコロナ禍以前の状況には戻っておらず、新規の案件も少なく印刷物全般の需要は減少した。

（前年比 平判 98.3% 巻取 77.2% 全体 92.8%）

（2019 年比 A2 コート計 72.4%）

<A3 コート>

学習塾、食品スーパー、量販店、ドラッグストアの定期案件と株主総会関連で動きがあり、巻取は昨年を上回った。

（前年比 平判 84.8% 巻取 116.4% 全体 107.3%）

（2019 年比 A3 コート計 93.8%）

<ノーカーボン紙>

平判はコロナワクチン予診票の細かな動きはみられた。

巻取は年度末までに生損保案件が動いていた反動で動きがみられず、官需に関しても目立った動きがなく大幅に前年を下回った。

（前年比 平判 92.6% 巻取 76.5%）

<上質フォーム>

税金関係の納付書など自治体の動きは堅調。例年の議決権、招集通知案件もあり、それに加え、参院選入場券など選挙需要が発生し、前年を上回った。

(前年比 106.2%)

<包装用紙>

特殊両更は株式用封筒、官公庁関係の需要は一定数あったものの前年を僅かに下回った。

(前年比 95.1%)

軽包装は価格修正を受け、製本会社などで一部買い増しの動きもあった。また、脱ブラによる紙への移行も増えており、低調であった前年を大きく上回った。

(前年比 155.5%)

片艶晒は株式用封筒、生命保険会社用封筒の動きはあったものの、在庫の不安定さもあり前年を僅かに下回った。

(前年比 98.2%)

両更晒は役所向け、通信会社向け、共済組合向けの封筒の需要が堅調で前年を上回った。

(前年比 102.3%)

色クラフトは一般企業向けの封筒が堅調に推移し前年とほぼ同様の動きとなった。

(前年比 100.9%)

純白ロールはお中元など贈答用の包装紙の動きもみられ前年とほぼ同様の動きとなった。

(前年比 104.3%)

包装紙全体では117.9%と前年を上回った。

<板紙>

コートボールは食品、菓子関連や医薬品関連を中心に安定。

高板はエンタメ、POPが回復せず低調だったが、カードゲームに動きが見られた。

チップボールは出版、土産向けの貼箱等各種低調であった。

GWに人出はみられたが土産物に買い控えの動きもあり全体では前年を下回った。

(前年比 98.0%)